



名古屋学院
サマーコンサート
2024

Summer Concert 2024

新アーレンオルガン披露演奏

7/20 Sat.

入場無料
全席自由

会場/名古屋学院・クライン・メモリアル・チャペル
(地下鉄名城線砂田橋駅下車3番出口すぐ)

日時/7月20日(土) 13:30開場 14:00開演

第一部/クラインズ・シスターズ、オーケストラ部、吹奏楽部

第二部/ゲストステージ

ゲスト

吉田 文 (オルガン)

トーマス・マイヤー＝フィービツヒ (オルガン・作曲)

ヨハン・ゼバスティアン・バッハ(1685-1750)

トッカータとフーガ 二短調 BWV 565

小フーガ ト短調 BWV 578

Johann Sebastian Bach:

Toccata und Fuge in d BWV565, Fuge in g BWV 578

曲目

トーマス・マイヤー＝フィービツヒ(1949-)

2台のオルガンと女声合唱の為に「名古屋学院第2校歌《希望はばたく》」による変奏曲(2024・初演)

第2オルガンパート:トーマス・マイヤー＝フィービツヒ

Thomas Meyer-Fiebig: Variationen über die Hymne der

"Nagoya Junior and Senior High School, für zwei Orgeln und Frauenchor

他



Aya Yoshida

吉田 文

名古屋生まれ。中学卒業と同時に単身渡独。ドイツ国立ケルン音楽舞踊大学カトリック教会音楽科、並びに大学院パイプオルガン科を卒業。A級カトリック教会音楽家国家資格及びドイツ国家演奏家資格取得。ヨーロッパ各地でも活発な演奏活動を行っており、コンツェルトハウス・ベルリンをはじめとする各地のオルガンコンサート・フェスティバル等に多々招聘されている。平成27年度名古屋市民芸術祭特別賞受賞、令和3年度名古屋市芸術奨励賞受賞。名古屋女子大学専任講師・准教授(領域「表現」)を歴任後、現在は名古屋音楽大学非常勤講師(パイプオルガン)、南山大学非常勤講師(教会音楽)。名古屋オルガンの秋実行委員会主宰。



Thomas Meyer-Fiebig

トーマス・マイヤー＝フィービツヒ

ドイツ・ビーレフェルト市マリエン教会の主任牧師を父とし、幼少の頃からパイプオルガンを始めとする教会音楽一般に多大な影響を受けながら育つ。ドイツ・デトモルト音楽大学作曲科、同大学院作曲課程科卒業。1978年来日以後、国立音楽大学及び大学院にて作曲科の教授として後進の指導にあたる一方、ドイツ各地の大学にでも特別講義講師としてたびたび招聘されている。2015年退官。作曲家としての活動の傍ら、オルガニストとしても活発な演奏活動を行っている。国立音楽大学名誉教授。令和元年度名古屋市民芸術祭特別賞受賞。